

第8期

事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

株式会社 島原観光ビューロー

第8期 事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

1. 株式会社の現状に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国の経済は、国際的な原材料価格の上昇や、円安による輸入コストの増加などを背景に企業の価格転嫁が進み40年ぶりの物価上昇となりました。

こうした物価上昇の下、当期は春闘で30年ぶりとなる高い水準の賃上げが実現し我が国の物価や賃金は大きく動き始め、経済ショックからの正常化やデフレ脱却につながる重要なターニングポイントとなる1年となりました。

観光面では、5月に新型コロナの感染症法上の位置づけが5類へと引き下げられたことで、観光産業も国内旅行や訪日旅行を中心に賑わいを取り戻し始め、観光の再生に向けた大きな一歩を踏み出す年となる一方、オーバーツーリズム、団体旅行の需要回復の遅れ、物価の高騰、宿泊機関や運送事業者などサービス提供機関の人手不足など、様々な懸案事項が顕在化する年でもありました。

4月の訪日外国人観光客の水際措置終了後は、円安効果も相まってクルーズ客船の寄港が増え、インバウンド需要が急増。昨年1年間の国内宿泊旅行消費額は前年比3割増の17兆7,960億円と大きく増加しました。また、昨年1年間における県内の主な宿泊施設の延べ宿泊者数は、前年比17%増の545万5,000人となりコロナ禍前の水準まで回復する一方、島原市内の宿泊施設の延べ宿泊者数は、約21万1,000人と依然コロナ禍前の水準に達していない状況です。

県内28の主な観光施設の延べ利用者数は前年比23.8%増の539万8,000人と順調に回復しており、島原市内の観光動向を見ても昨年2月の島原城天守閣外壁工事の完了以降、西九州新幹線開業後初めてゴールデンウィーク及びお盆を迎えたこと、全国旅行支援「ながさきで心呼吸の旅キャンペーン」が9月まで延長されたこと、さらには各種イベントがコロナ禍前同様の通常開催となったことなどにより個人客、団体客ともに増加しました。

こうした追い風の中、当社の指定管理施設は、島原城天守閣の入館者数がコロナ禍前の2019年度以来4年ぶりに10万人の大台を突破し、天守閣、本丸売店、四明荘及び清流亭の全ての指定管理施設の売上高は、コロナ禍前を上回る結果となりました。

以上のような状況の中、当社の当期業績は以下のとおりとなりました。

① 指定管理事業

(ア) 島原城

外国人訪問客の水際措置の終了や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動、経済活動の回復による入場者の増に加え、入場料が10月から増額改定されたことなどにより売上は、コロナ禍前の約1.2倍、前期の約1.6倍と大きく増加。収入増加策として島鉄カフェトレインとのコラボ、夜間の天守閣を活用した夜の陣、謎解きお城脱出ゲームの開催、御城印や武将隊グッズなどのオリジナル商品の販売にも積極的に取り組みました。

また、2024年の築城400年を広くPRするため、県内外の各種催事やイベントに積極的に参加するなど、島原の観光プロモーション活動に努めました。

- ・売上高 94,825千円 (前期比158.4%、2019年度比123.1%)
- ・入館者数 119,925人 (前期比140.0%、2019年度比96.6%)

うち外国人 6,388人 (前期比 565.8%、2019年度比 80.7%)

(イ) 本丸売店

島原城の入場者の増に伴う売り上げ増に加え、県内外の各種催事・イベントでの出店販売、築城400年に向けた城内梅園の梅を活用したOEM商品の好調な売上、クルーズ船のインバウンド需要の回復などにより売上高は、コロナ禍前の2019年度並びに前期を上回りました。

・売上高 67,973千円 (前期比 127.9%、2019年度比 115.7%)

(ウ) 清流亭

訪日外国人観光客の水際措置の終了や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動、経済活動の回復、島鉄カフェトレインとのコラボ企画などにより入館者が前期を上回り、それに伴い売上もコロナ禍前の2019年度並びに前期を上回りました。

また、訪日外国人観光客が前期の約1.7倍と大きく増加したことも売り上げ増につながりました。

・売上高 20,224千円 (前期比 108.6%、2019年度比 137.5%)

・来店者数 34,750人 (前期比 154.9%、2019年度比 124.4%)

うち外国人 624人 (前期比 165.5%、2019年度比 17.3%)

(エ) 四明荘

訪日外国人観光客の水際措置の終了や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動、経済活動の回復、島鉄カフェトレインとのコラボ企画などにより入館者が前期を上回り、それに伴い売上もコロナ禍前の2019年度並びに前期を上回りました。

また、訪日外国人観光客が前期の約1.6倍と大きく増加したことも売り上げ増につながりました。

・売上高 10,344千円 (前期比 129.3%、2019年度比 125.7%)

・入場者数 33,007人 (前期比 113.1%、2019年度比 117.0%)

うち外国人 2,817人 (前期比 164.0%、2019年度比 103.7%)

指定管理施設の入館者数及び売上状況の推移

		第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	前期比較		コロナ前
		(令和元年度)	(令和2年度)	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	増減額	対比	2019年度比 対比
島原城	入館者	124,100人	59,340人	68,873人	85,643人	119,925人	34,282人	140.0%	96.6%
	売上高	77,010千円	38,700千円	44,403千円	59,859千円	94,825千円	34,966千円	158.4%	123.1%
本丸売店	売上高	58,732千円	34,924千円	43,403千円	53,133千円	67,973千円	14,840千円	127.9%	115.7%
清流亭	入館者	27,924人	17,300人	20,294人	22,432人	34,750人	12,318人	154.9%	124.4%
	売上高	14,709千円	10,386千円	11,811千円	18,626千円	20,224千円	1,598千円	108.6%	137.5%
四明荘	入館者	28,201人	15,148人	18,411人	29,181人	33,007人	3,826人	113.1%	117.0%
	売上高	8,227千円	4,358千円	5,219千円	7,998千円	10,344千円	2,346千円	129.3%	125.7%
施設合計	売上高	158,678千円	88,368千円	104,836千円	139,616千円	193,366千円	53,750千円	138.5%	121.9%

注1：島原城売上高は、入館料のほか駐車料金、望遠鏡使用料、物販売上などを含む。

② 委託事業・補助事業

(ア) 鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 (Koi カフェゆうすい館)

本事業は、鯉の泳ぐまち観光施設を周遊し、滞在時間の延長と消費拡大を目的に島原市からの委託を受け、令和3年7月から古民家カフェとして営業しています。店内では島原の湧水を使った伝統的なスイーツ「かんざらし」や湧水で入れたコーヒーなどを提供し、お客様に癒しの時と空間を楽しんでいただけるよう心がけています。当期は、インターンシップの大学生の意見を参考に3種類の異なった味のかんざらしをセットにしたオリジナル商品「かんkoiセット」を開発、商品化するなど創意工夫に努めました。その結果、年々入店者が増え、当期の売上は前期の1.4倍を超える883万円となり、市の委託料を前期の3分の1以下に減額することができました。また、来店者のうち四明荘からの紹介者が3割程を占めており、鯉まちトライアングル構想（四明荘⇔koi カフェゆうすい館⇔清流亭の周遊）が順調に推移しています。

		第6期 (令和3年度)	第7期 (令和4年度)	第8期 (令和5年度)	前期比較	
					増減	対比
		Koiカフェゆうすい館 (令和3年7月開業)	入店者数	6,900人	13,187人	19,355人
	売上金額	2,754千円	6,237千円	8,833千円	2,596千円	141.6%
	委託料	7,170千円	9,000千円	3,000千円	▲6,000千円	33.3%

(イ) 島原城築城400年武将隊PR事業

本事業は、島原藩の歴代藩主らにより当時を彷彿させる演出を行い観光客の満足感・充実感を高め観光活性化に寄与することを目的に令和3年度から島原市の委託を受けて取り組んでおり、当期で丸3年となります。

当期は、築城400年の前年度となるため、市内外を問わず様々な催事やイベントに積極的に参加し演舞を披露することで観光地島原の魅力アップと築城400年を契機とした誘致に取り組みました。加えてYouTubeによる動画配信やSNSによる日々の情報発信に取り組みました。また、土日祝日には、演舞披露や武将隊と一緒に記念撮影会を行うなど来城者へのおもてなしに努めました。その他、歴代藩主や島原城をあしらった「御城印帳」や武将隊の「アクリルキーホルダー」、築城400年を記念した「島原城サコッシュ」などのオリジナル商品のデザインを自ら作成・販売し、売り上げ拡大を図りました。

- ・2021年度年間 動画配信数 69件 SNS 発信数1,846件
- ・2022年度年間 動画配信数177件 SNS 発信数3,062件
- ・2023年度年間 動画配信数105件 SNS 発信数2,327件

(ウ) 観光振興事業(島原港観光案内所、島原駅観光案内所)

観光案内所業務のほか、物販やサービスの販売、宿泊部会事務局・火張山花公園事務局・ひなめぐりんイベント、オルレイイベントの受付業務、SNSを活用した観光情報発信などの観光振興業務を行いました。

また、市観光課と連携を図りながら、収益事業として旅行業務（主にスポーツ大会やスポーツキャンプ時の配宿業務）に取り組みました。

- ・2021年度年間 物販売上1,600千円 旅行業1,470千円
- ・2022年度年間 物販売上2,306千円 旅行業5,884千円
- ・2023年度年間 物販売上2,514千円 旅行業5,383千円

③オリジナル事業

(ア) めぐりんチケット

本事業は、市内観光の周遊及び滞在時間の延長、消費拡大を目的に、島原城天守閣と四明荘の1日フリー入館をはじめ、レンタルサイクル料や市内対象店舗での割引など様々な特典が受けられるお得な旅行チケットを販売するもの。現在、島原港、島原駅、清流亭の各観光案内所及び島原城天守閣の4か所で販売しており、アンケートで利用者の要望、意見を集約し、随時サービス内容を見直すなど利用者の利便性向上に努めた結果、当期は前期の2倍以上の売上を達成しました。これにより、指定管理施設の利用促進並びに市内店舗のPR、売上げ増加に寄与しました。

		第4期 (令和元年度)	第5期 (令和2年度)	第6期 (令和3年度)	第7期 (令和4年度)	第8期 (令和5年度)	前期比較	
							増減	対比
							めぐりんチケット (トクトク駐車券含む)	販売冊数
	売上金額	2,826千円	1,028千円	1,080千円	1,577千円	3,331千円	1,754千円	211.2%

(イ) めぐチャリ

本事業は、観光客の市内周遊の利便性向上を目的に、令和3年10月から県の補助を活用し21台の電動自転車を整備のうえ事業を開始。前期まで島原港、島原城及び清流亭の各観光案内所で行っていましたが、当期から島原駅でも貸し出しを始めたことにより貸出台数は前期比約1.6倍と大幅に増えました。

なお、貸出箇所ごとの利用実績は、貸出台数の多い順に島原港461台(43%)、島原駅453台(42%)、島原城141台(13%)、清流亭24台(2%)となっています。

		第4期 (令和元年度)	第5期 (令和2年度)	第6期 (令和3年度)	第7期 (令和4年度)	第8期 (令和5年度)	前期比較	
							増減	対比
							めぐチャリ	貸出台数
	売上金額	134千円	115千円	189千円	592千円	835千円	243千円	141.0%

※ 令和3年10月以前の数値は、別メニューで実施したレンタサイクル事業の実績(島原港のみで貸出)

(ウ) ハイカラさんが通る

本事業は、若い世代の女子旅やカップルをターゲットにした袴のレンタルサービスで、当初「しまばら浪漫ひなめぐりん」期間中のみの企画としてスタート。その後、中年層以上の幅広い年代の需要が見込まれことから、事業期間に春休み・夏休み期間を追加、令和3年度からは土日祝日を追加、さらに当期からは事前予約を前提に平日の貸出も対応するなど、利用者の利便性を高めながら積極的に顧客獲得に努めました。また、社員自らがデザインした専用ロゴをプリントしたエコバックやTシャツなどのオリジナルグッズの作成・販売にも取り組み収益増に努めました。

		第4期 (令和元年度)	第5期 (令和2年度)	第6期 (令和3年度)	第7期 (令和4年度)	第8期 (令和5年度)	前期比較	
							増減	対比
							袴レンタル・オリジナルグッズ販売	貸出人数
袴貸出売上	136千円	414千円	449千円	359千円	289千円	▲70千円		80.5%
グッズ売上	78千円	322千円	82千円	236千円	308千円	72千円		130.5%

(エ) さくらさくらプロジェクト島原城お箏教室

本事業は、地域貢献の一つとして島原半島内の児童生徒に藩政時代から上流階級の習い事であったお箏を通じて邦楽文化に触れてもらいお箏の伝統文化を次の100年につなぐことを目的に令和4年度から取り組んでいます。当期末現在34名が在籍しており、令和7年度の国民文化祭出演を目指して月2回の練習を行うほか、半島内の各種イベント等にも参加し、演奏することで地域活性化の一助となっています。

□ 全事業の概況（総括）

指定管理施設の売上は、島原城（駐車場含）、本丸売店、清流亭及び四明荘の全ての施設において、コロナ禍前の2019年度並びに前期を上回り、売上総額は、コロナ禍前比22%増の193,366千円となり、過去4年間で最高額となりました。エリア別の内訳は、島原城エリアが全体の84%で162,798千円、鯉まちエリアが16%で30,568千円となりました。

入館者は、島原城天守閣が前期比40%増の119,925人と4年ぶりに10万人の大台を超えたものの、2019年度比97%と依然コロナ禍前の水準には達していない。一方、鯉まちエリアは、2019年度比121%とすでにコロナ禍前を上回る状況となっています。

インバウンド需要については、訪日外国人観光客水際措置終了や円安効果もあり島原城、清流亭及び四明荘全体の入館者は、前期の3倍を超える9,829人となり収益増の要因の一つとなりましたが、コロナ禍前の7割程度に留まっており、本市におけるインバウンド需要の完全回復には、もうしばらく時間を要するものと考えます。

コロナ禍前の2019年度から当期までの各指定管理施設の入館者及び売上高の推移は、2頁に示した表のとおりですが、島原城及び四明荘の売上増は、10月の料金改定の影響が大きく、増額改定に伴う増収額は約13,800千円（島原城12,536千円、四明荘1,242千円）と見込まれます。

委託事業として取り組んでいる「島原城築城400年武将隊PR事業」、「鯉の泳ぐまち魅力アップ事業」は、それぞれの事業目的である観光地島原の魅力アップと築城400年を契機とした誘致、市内観光施設の周遊促進及び滞在時間の延長という所期の目的を達成することができました。また、自社のオリジナル事業として取り組んでいるめぐりんチケット、めぐチャリは、スキーム改善を重ねることで観光客にも認知され売上也順調に推移しており、市内観光施設の周遊促進と滞在時間の延長、消費額拡大に寄与しているものと考えます。

また、築城400年記念関係事業では、島原城を舞台に開催した年末の年越しイベントでは、クラウドファンディングで目標を超える多くの支援を受け、集まった観客と一緒に築城400年の幕開けを賑やかに迎えることができました。2月の市民無料開放では、1,200人を超える皆様にご来城いただき本市のシンボルである島原城を身近に感じていただくことができました。

国内では、原材料価格の上昇や円安などの影響で前期に引き続き物価上昇が続き、実質賃金は2年連続でマイナスとなりました。こうした状況の中、経営基盤の強化と生産性の向上を目指して、従業員エンゲージメントを高めるため、物価手当及び通勤手当の創設などの処遇改善に取り組みました。

以上を進めた結果、当期の売上高は274,894千円（前期比112.6%）、売上総利益は211,339千円（前期比109.4%）、販管費は206,351千円（前期比106.9%）、営業利益は4,988千円（前期4,792千円増）、経常利益は5,149千円（前期4,560千円増）、当期純利益は1,789千円（前期1,545千円増）となり、増収増益の黒字決算となりました。

※ 当期指定管理料 22,600千円（対前期比 ▲8,600千円）

今後も常に民間感覚を念頭に置きつつ、創意工夫を重ねてコスト削減と売上の増加を図り、公的支援に依存しない自立・自走型の会社経営を目指して取り組んでまいります。

(2) 資金調達等についての状況

設立時2,005株(払込金額1株につき20,000円)を発行し、資本金40,100,000円でスタートしました。その後、2016年11月に増資を行い995株追加発行し、資本金60,000,000円(3,000株)となり現在に至っています。

(3) 財産及び損益状況の推移

	第4期 (令和元年度)	第5期 (令和2年度)	第6期 (令和3年度)	第7期 (令和4年度)	第8期 (令和5年度)	前期比較	
						増減	対比
						売上高	234,571千円
売上総利益	187,452千円	221,315千円	207,176千円	193,168千円	211,339千円	18,171千円	109.4%
販管費	186,220千円	208,313千円	194,528千円	192,972千円	206,351千円	13,379千円	106.9%
営業利益	1,232千円	13,002千円	12,648千円	196千円	4,988千円	4,792千円	2544.9%
経常利益	1,233千円	13,075千円	12,617千円	589千円	5,149千円	4,560千円	874.2%
当期純利益	1,050千円	12,856千円	9,324千円	244千円	1,789千円	1,545千円	733.2%
1株当期純利	350円	4,285円	3,108円	81円	596円	515円	733.2%
総資産	64,160千円	80,153千円	93,943千円	114,288千円	115,001千円	713千円	100.6%
純資産	38,336千円	51,191千円	60,515千円	60,759千円	62,547千円	1,788千円	102.9%

(4) 主要な営業所及び従業員の状況

名 称	所 在 地
(株)島原観光ビューロー 島原城本部	〒855-0036 島原市城内1丁目1183-1
(株)島原観光ビューロー 外港事務所	〒855-0861 島原市下川尻町7-5

令和6年3月31日現在

	総合企画支援部	DMO推進室	商品企画販売部	誘致営業推進部	合 計	前期末増減
社 員	1 (1)	2 (1)	10 (7)	2 (2)	15 (11)	1 (0)
契 約 社 員	2 (1)	0 (0)	21 (18)	3 (2)	26 (21)	1 (1)
合 計	3 (2)	2 (1)	31 (25)	5 (4)	41 (32)	2 (1)

注1：()内は女性の人数

(5) 剰余金の配当等を取締役会が決定する旨の定款の定めがあるときの権限の行使に関する方針

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要な施策の一つと位置付けております。当社は、将来における安定的な成長と経営環境の急激な変化にも対応できるよう、まずは必要な内部留保を確保した上で、経営成績に応じ株主への利益還元を継続的に行うことを基本としています。

(6) 対処すべき課題と方針

観光業界はコロナ禍で大きな変化が生じ、利益の減少だけでなく観光客の価値基準も変わりました。コロナ禍を経た観光産業界は、急激にマーケットが回復したことに伴う人材不足やインバウンド対応、一部地域でのオーバーツーリズムが大きな課題となっています。特に人材確保策の課題

は、当社においても例外ではなく、効率的な施設運営、良質なサービスの提供及び効果的な観光プロモーションを実現するためには、会社運営の基盤となる人材の確保、育成が急務となっています。

部門ごとの対処すべき課題と目指すべき方針は以下のとおりです。

【総務・施設整備】

- ワークエンゲージメントの向上による生産性のアップ
- 業務量・業務内容に応じた適切な人員確保及び人材育成
- 顧客ニーズに沿った施設環境の整備及び計画的な維持管理

【DMO 推進室】

- 効果的観光マーケティング（市場分析・ブランド戦略・プロモーション）の実施
- 既存観光資源の磨き上げ、受入環境の整備及び新たな観光コンテンツの開発・販売
- 観光支援財源（国県等の補助金）確保に向けた取り組み

【島原城・本丸売店】

築城 400 年を契機としたイベント開催及びオリジナル商品開発による収益の最大化

- インバウンド及び修学旅行受入れ体制の整備・拡充
- 武将隊メンバーの安定的な採用育成及びパフォーマンスの向上
- 天守閣館内展示スペースの環境整備
- 新たなプライベート商品の開発・販売
- 費用対効果を加味した店舗外出展による収益向上

【鯉の泳ぐまち観光施設】

3 施設周遊の好循環及び市内施設への周遊促進創出

- （清流亭）魅力あるギフトセンターとしての地位確立
- （四明荘）湧水文化の発信及びリラックスできる癒し空間の演出
- （湧水館）サービスの向上、新メニューの開発、情報発信

【観光案内所】

従来の「道案内所」から観光客が立ち寄りたくなる魅力ある「交流案内所」への転身

- 地元の利を生かした、その時々に応じたタイムリーな旬の情報発信と誘客活動
- 半島 3 市の観光案内所と連携した島原半島全域への観光周遊の促進
- 市の誘致活動と連携した配宿業務の拡充
- 富裕層向け着地型旅行商品の開発・販売
- 訪日外国人観光客に対応できる人材の確保・育成

2. 株式に関する事項

- | | |
|----------------------------|---------|
| ① 発行可能株式数 | 3,000 株 |
| ② 発行済株式の総数 | 3,000 株 |
| ③ 当事業年度末の株主数 | 221 名 |
| ④ 大株主（発行済株式総数の 10 分の 1 以上） | |

令和 6 年 3 月 31 日 現在

株主名	持株数
島原市	2,000 株

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

令和6年3月31日現在

地位及び担当	氏名	他の法人等の代表状況
代表取締役	市瀬 一馬	
取締役	古川 隆三郎	島原市長
取締役	満井 敏隆	島原商工会議所 会頭
取締役	浜野 彰	島原市 島原ふるさと創生本部長
監査役	西田 理恵子	西田税務会計事務所

注1 取締役古川隆三郎氏、満井敏隆氏、浜野彰氏は会社法第2条15号に定める社外取締役となります。

注2 監査役西田理恵子氏は、会社法第2条16号に定める社外監査役ではありますが、その中でも独立役員となります。

注3 監査役西田理恵子氏は、税理士資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の総額

地位	人員	報酬等の額
取締役	4人	8,000,000円
監査役	1人	1,200,000円
計	5人	9,200,000円

注1 報酬等の額は令和5年4月～令和6年3月末までの合計額です。

注2 古川取締役、満井取締役、浜野取締役は、その社会的立場から無報酬としています。

(3) 社外役員の主な活動状況

地位	氏名	主な活動状況
監査役	西田 理恵子	令和5年5月31日第1回取締役会、5月31日第7期事業年度監査、6月19日第7期株主総会、8月29日第2回取締役会、11月27日第3回取締役会、令和6年2月26日第4回取締役会に出席し、専門的な見地から、議案・審議等に必要な発言を適宜行っております。

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 令和 5年 4 月 1 日
至 令和 6年 3 月 31 日

株式会社島原観光ビューロー
長崎県島原市下川尻町 7 番地 5

比較 貸借対照表

株式会社島原観光ビューロー

【資産の部】

科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
【流動資産】	【 107,933,856 】	【 102,950,718 】	【 4,983,138 】	104.8
1 現 金	5,366,455	2,938,324	2,428,131	182.6
2 預 金	89,184,946	82,524,752	6,660,194	108.1
3 売 掛 金	6,218,462	5,172,511	1,045,951	120.2
4 商 品	5,655,464	3,934,332	1,721,132	143.7
5 貯 蔵 品	146,894	328,961	▲182,067	44.7
6 立 替 金		25,849	▲25,849	
7 前 払 費 用	4,000	8,000	▲4,000	50.0
8 未 収 入 金	1,357,635	8,017,989	▲6,660,354	16.9
【固定資産】	【 7,066,902 】	【 11,337,578 】	【 ▲4,270,676 】	62.3
9 (有形固定資産)	(5,693,883)	(7,762,499)	(▲2,068,616)	73.4
10 建 物	655,500	793,500	▲138,000	82.6
11 建物附属設備	346,634	435,387	▲88,753	79.6
12 構 築 物	947,502	1,168,038	▲220,536	81.1
13 車 両 運 搬 具	1,219,197	2,031,994	▲812,797	60.0
14 工 具 器 具 備 品	2,525,050	3,333,580	▲808,530	75.7
15 (無形固定資産)	(373,019)	(2,575,079)	(▲2,202,060)	14.5
16 商 標 権	6,352	8,412	▲2,060	75.5
17 ソフトウェア	366,667	2,566,667	▲2,200,000	14.3
18 (投資他の資産)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	100.0
19 差 入 保 証 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0
資 産 合 計	115,000,758	114,288,296	712,462	100.6

【ポイント】

資産合計推移

(参考) 2016年度/80,006千円 →2017年度/67,383千円 →2018年度/68,154千円 →2019年度/64,160千円
→2020年度80,153千円 →2021年度/93,943千円 →2022年度/114,288千円

1. 2 現金と預金 9,088千円増加 … 収益増に伴う増
3. 売掛金 1,046千円増加 … 3月の売上に伴うキャッシュレス決済の増
8. 未収入金 6,660千円減少 … 全国旅行支援補助金、ふるさと納税プロモーション委託料、前払い法人税還付金等の減
14. 工具器具備品 809千円減少 … 減価償却による減
17. ソフトウェア 2,200千円減少 … 減価償却による減

比較 貸借対照表

【負債・純資産の部】

単位：円

科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
【 流 動 負 債 】	【 44,605,301 】	【 51,529,741 】	【 ▲6,924,440 】	86.6
20 買 掛 金	8,621,937	6,667,016	1,954,921	129.3
21 未 払 金	18,351,140	20,100,371	▲1,749,231	91.3
22 未 払 法 人 税 等	3,399,200	91,300	3,307,900	3723.1
23 未 払 消 費 税 等	4,234,700	2,501,700	1,733,000	169.3
24 預 り 金	3,461,324	18,621,354	▲15,160,030	18.6
25 賞 与 引 当 金	6,537,000	3,548,000	2,989,000	184.2
【 固 定 負 債 】	【 7,848,000 】	【 2,000,000 】	【 5,848,000 】	392.4
26 長 期 未 払 金	528,000		528,000	
27 退 職 給 与 引 当 金	7,320,000	2,000,000	5,320,000	366.0
負 債 合 計	52,453,301	53,529,741	▲1,076,440	98.0
【 株 主 資 本 】	【 62,547,457 】	【 60,758,555 】	【 1,788,902 】	102.9
28 資 本 金	60,000,000	60,000,000	0	100.0
29 (利 益 剰 余 金)	(2,547,457)	(758,555)	(1,788,902)	335.8
30 その他利益剰余金	2,547,457	758,555	1,788,902	335.8
31 繰越利益剰余金	2,547,457	758,555	1,788,902	335.8
純 資 産 合 計	62,547,457	60,758,555	1,788,902	102.9
負 債 ・ 純 資 産 合 計	115,000,758	114,288,296	712,462	100.6

【ポイント】

当期（2023年度）末の利益剰余金は2,547千円となりました。

20. 買掛金 1,955千円増加 …… 築城400年記念オリジナル商品の仕入などの増
 21. 未払金 1,749千円減少 …… 車両購入費の減
 22. 未払法人税等 3,308千円増加 …… 収益増に伴う増
 23. 未払消費税等 1,733千円増加 …… 収益増に伴う増
 24. 預り金 15,160千円減少 …… 指定管理料(補正分)返還金の皆減、旅行業に伴う宿泊料預り金及び市補助金返還金等の減
 27. 退職給与引当金 5,320千円増加 …… 給与規程(退職金支給規定)に基づく退職金引当金の増
 31. 繰越利益剰余金 1,789千円増加 …… 黒字決算に伴う増 当期末一株当たり単価 20,849円（前期）20,252円

比較 損益計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

単位：円

	科 目	当 期	前 期	差 額	前期 対比
1	【 売 上 高 】	【 274,893,801 】	【 244,132,496 】	【 30,761,305 】	112.6
2	本部事業収益	26,880,715	29,489,790	▲2,609,075	91.2
3	島原城事業収益	94,825,232	59,858,993	34,966,239	158.4
4	本丸売店事業収益	67,973,396	53,133,522	14,839,874	127.9
5	観光振興事業収益	16,679,314	15,215,322	1,463,992	109.6
6	DMO推進事業収益	3,661,457	5,575,502	▲1,914,045	65.7
7	四明荘事業収益	10,344,320	7,997,815	2,346,505	129.3
8	清流亭事業収益	20,224,485	18,626,260	1,598,225	108.6
9	築城400武将隊PR収益	16,468,841	15,681,595	787,246	105.0
10	鯉の泳ぐまち魅力UP収益	11,834,133	14,461,673	▲2,627,540	81.8
11	コロナ対策事業収益	618,829	18,207,634	▲17,588,805	3.4
12	旅行業事業収益	5,383,079	5,884,390	▲501,311	91.5
13	【 売 上 原 価 】	【 63,554,742 】	【 50,964,527 】	【 12,590,215 】	124.7
14	期首棚卸高	3,934,332	1,609,220	2,325,112	244.5
15	売店仕入	45,914,307	35,281,870	10,632,437	130.1
17	島原城仕入	889,970	350,969	539,001	253.6
18	清流亭仕入	14,065,676	12,823,616	1,242,060	109.7
19	委託仕入	2,262,117	2,011,337	250,780	112.5
20	DMO仕入	1,256,165	817,059	439,106	153.7
21	観光振興仕入	641,239	445,824	195,415	143.8
22	本部仕入	246,400	1,558,964	▲1,312,564	15.8
23	期末棚卸高	▲5,655,464	▲3,934,332	▲1,721,132	143.7
24	売 上 総 利 益	211,339,059	193,167,969	18,171,090	109.4
25	【 販売費及び一般管理費 】	【 206,350,978 】	【 192,971,788 】	【 13,379,190 】	106.9
26	営 業 利 益	4,988,081	196,181	4,791,900	2542.6
27	【 営 業 外 収 益 】	【 160,712 】	【 394,095 】	【 ▲233,383 】	40.8
28	受取利息	722	597	125	120.9
29	雑収入	159,990	393,498	▲233,508	40.7
30	【 営 業 外 費 用 】	【 】	【 1,120 】	【 ▲1,120 】	
31	経 常 利 益	5,148,793	589,156	4,559,637	873.9
32	【 特 別 利 益 】	【 39,310 】		【 39,310 】	
33	固定資産譲渡収入	39,310		0	
34	【 特 別 損 失 】	【 1 】		【 1 】	
35	固定資産除却損	1		0	
36	税引前当期純利益	5,188,102	589,156	4,598,946	880.6
37	法人税等	3,399,200	345,500	3,053,700	983.8
38	当 期 純 利 益	1,788,902	243,656	1,545,246	734.2

比較 販売費及び一般管理費

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

単位：円

	科 目	当 期	前 期	差 額	前 期 対 比
1	役 員 報 酬	9,200,000	9,200,000	0	100.0
2	給 与 手 当	33,837,211	30,606,498	3,230,713	110.6
3	賃 金	44,060,842	40,536,532	3,524,310	108.7
4	賞 与	4,389,250	3,547,000	842,250	123.7
5	賞与引当金繰入額	6,537,000	3,548,000	2,989,000	184.2
6	退職給付費用	5,320,000	2,000,000	3,320,000	266.0
7	法定福利費	13,216,120	12,218,950	997,170	108.2
8	福利厚生費	657,405	241,548	415,857	272.2
	外 注 費			0	
9	旅 費 交 通 費	3,787,220	1,185,931	2,601,289	319.3
10	通 信 費	2,210,609	1,697,188	513,421	130.3
11	交 際 費	359,773	196,388	163,385	183.2
	寄 付 金			0	
12	会 議 費	32,540	35,400	▲2,860	91.9
13	減 価 償 却 費	4,904,275	5,313,808	▲409,533	92.3
14	地 代 家 賃	300,000	300,000	0	100.0
	諸 行 事 協 力 費			0	
15	リ ー ス 料	1,084,806	1,340,578	▲255,772	80.9
16	保 險 料	3,771,243	3,417,012	354,231	110.4
17	修 繕 費	2,035,674	1,273,406	762,268	159.9
18	水 道 光 熱 費	8,526,509	9,676,955	▲1,150,446	88.1
19	燃 料 費	413,594	281,667	131,927	146.8
20	消 耗 品 費	7,354,306	7,416,024	▲61,718	99.2
21	租 税 公 課	88,110	100,191	▲12,081	87.9
22	事 務 用 品 費	426,141	291,365	134,776	146.3
23	広 告 宣 伝 費	2,388,425	2,247,450	140,975	106.3
24	支 払 手 数 料	1,725,201	2,165,157	▲439,956	79.7
25	諸 会 費	503,375	552,375	▲49,000	91.1
26	新 聞 図 書 費	52,632	52,632	0	100.0
27	観 光 事 業 費	2,373,064	6,917,193	▲4,544,129	34.3
28	剪 定 防 除 費	2,588,200	2,002,500	585,700	129.2
29	業 務 委 託 費	17,525,517	18,605,824	▲1,080,307	94.2
30	管 理 委 託 費	7,208,294	7,427,321	▲219,027	97.1
31	負 担 金	694,000	573,600	120,400	121.0
32	消 費 税	11,102,000	9,156,900	1,945,100	121.2
33	印 刷 製 本 費	4,469,135	3,089,129	1,380,006	144.7
34	諸 謝 金		20,000	▲20,000	
37	島原市ふるさと応援旅行券		4,014,647	▲4,014,647	
38	島原オルレイベント	437,715	351,750	85,965	124.4
39	雑 費	2,770,792	1,370,869	1,399,923	202.1
	合 計	206,350,978	192,971,788	13,379,190	106.9

株主資本等変動計算書

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	60,000,000
-----	--------------	------------

利益剰余金		
-------	--	--

その他利益剰余金		
-----------------	--	--

繰越利益剰余金	当期首残高	758,555
---------	-------	---------

	当期変動額	当期純利益	1,788,902
--	-------	-------	-----------

	当期末残高	2,547,457
--	--------------	------------------

利益剰余金合計	当期首残高	758,555
----------------	-------	---------

	当期変動額	1,788,902
--	-------	-----------

	当期末残高	2,547,457
--	--------------	------------------

株主資本合計	当期首残高	60,758,555
---------------	-------	------------

	当期変動額	1,788,902
--	-------	-----------

	当期末残高	62,547,457
--	--------------	-------------------

純資産合計	当期首残高	60,758,555
--------------	-------	------------

	当期変動額	1,788,902
--	-------	-----------

	当期末残高	62,547,457
--	--------------	-------------------

個別注記表

株式会社島原観光ビューロー

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、リース資産についてはリース期間定額法）を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

会計方針の変更に関する注記

会計方針の変更

該当なし

表示方法の変更に関する注記

表示方法の変更

該当なし

貸借対照表等に関する注記

その他

当 期

前 期

有形固定資産の減価償却累計額

44,933,203円

40,608,927円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

当 期

前 期

前期末株式数（発行済普通株式）

3,000株

3,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

3,000株

3,000株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

その他の注記

その他

部門間内部取引 売上・仕入等に 3,670,267円含んでおります。

監査報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの、第8期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに係る資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 二、取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年6月10日

株式会社 島原観光ビューロー

監査役 西田理恵子 